

吹田市教育委員会様

2024年8月23日

「夢洲カジノを止める会」吹田

連絡先：

kagotanis@gmail.com

## 面談要望

大阪府教育委員会は7月に大阪・関西万博への「児童、生徒無料招待事業」についての臨時説明会を各市町村教育長及び招待事業担当者に行いました。また万博協会自身も7/22に学校向け説明会を行っています。

その内容は学校現場が抱く様々な懸念事項についての「対応状況」はどの項目も「検討中」「調整中」「申し入れ中」と明確な回答になっていません。にもかかわらず10月13日以降に仮予約を始めると示しました。また万博協会の説明会でも疑問や不安が噴出し、「万博協会が直接保護者に説明を」という意見も出たと聞きます。遠足に欠かせない下見については「開幕後のみ」という回答です。

以前から指摘されているように、夢洲会場ではメタンガス爆発事故、熱中症、有害汚染物質、災害時の避難計画、移動手段など難題への対策が欠かせません。しかし万博協会、府教委は疑

念に応えないこのような対応・対策で、「安心安全な遠足」とうたって児童・生徒を「招待」するのでしょうか。学校・学年単位の遠足であれば児童・生徒に一定の「強制力」を持ちます。私たち市民・保護者が危惧し困惑する気持ちは解消されません。遠足時にもし重大事故で児童・生徒が被害を受けたら府は責任を負うのか、という疑問には「参加は学校の判断なので、府教委には責任はない」と責任回避に終始しています。

このような状況と保護者・児童・教職員の不安がつる中で、参加・不参加の判断が迫ってきました。6月の市議会では、市長は「安全性が担保できたとの報告を受ければ、保護者の意向を確認のうえで参加を判断する」と答弁しました。また最終判断は「学校が行う」としながら、市教委として「一定の方向を示す」と回答しています。そのためには吹田市教育委員会に置かれましては府の情報提供の内容と、市内の各学校の意向調査の調整状況を把握していただきたい。そして万博遠足についてどのような判断を「一定の方向」として示されるのか、当会と9月中旬に協議していただきたく面談を希望いたします。